

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	一人ひとりの希望に沿った外出や散歩の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 外に出て季節を体感していただく。 日常的な外出(買い物等)支援を行う。 希望に沿った外出をし気分転換していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の配置を工夫し、短時間の近隣の散歩の実施。 日常会話の中からお本人の希望を聞き出す。 ご家族と協力しながら支援する。 	6ヶ月
2	20	本人の馴染みの人や場所との関係等の継続の支援	<ul style="list-style-type: none"> お盆やお正月・法事(仏壇、墓参り)、親類の集まり等、季節行事が家族職員の支援で行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族会や面会時に家族の同意や意見・要望を確認する。 本人の希望を確認して墓参りや自宅訪問を支援する。 	12ヶ月
3	33	現状としてご利用者のご家族からの看取りの要望と、受け入れに対してのスタッフの不安等、双方の温度差の解決が出来ていない。また、看取りに際しての書類の整備なども課題として残されている。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の穏やかな暮らしの延長線上にある終末期をご家族として見送られる、その思いを支える支援を行うための様々な課題に取り組んでいく ①スタッフの看取りに向き合うための不安の軽減 ②ホームとしての看取りの体制の整備とご家族への説明 	<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフに向けての看取りの勉強会を外部講師又は、セミナーへの参加にて行っていく。その後ミーティングの時間を利用し、研修報告を行っていく。(研修報告書をスタッフ全員、順番に提出してもらう) 重度化した場合の介護の指針を文書として作成する。その後、全ご家族対象に説明する。 主治医へ看取りに対しての取り組みを事前に報告し承諾をもらう 	6ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。